

## PMW-F55, PMW-F5 ファームウェア V2.0 リリースノート

2013 年 10 月 7 日

### 【概要】

PMW-F55/F5 のアップデート版(Package Software Version 2.0)をリリースします。必要に応じてバージョンアップを行ってください。以下にて関連製品の 2013 年 10 月 4 日現在の最新ファームウェアバージョンを記載します。

Product name	Latest firmware	Release date
PMW-F55/F5	V2.0	本リリースノート
AXS-R5	V2.0	2013 年 10 月 4 日
AXS-512S24	V1.2	2013 年 6 月 5 日
AXS Utility Software	V1.2	2013 年 10 月 4 日
RAW Viewer	V2.0	2013 年 10 月 4 日

本ファームウェアはお手元の PMW-F55/F5 がどのバージョンでも直接バージョンアップが可能です。

AXS-R5 をお持ちの方は同時に V2.0 へのアップデートしてください。

また、V2.0 にアップデートされた F55/F5 と R5 を V1.22 以下のバージョンにダウングレードすることはできませんのでご注意ください

追加注意点: V1.15 もしくはそれ以下のバージョンから直接 V2.00 にバージョンアップした場合は、バージョンアップ完了後、必ずカメラの System メニュー内にある「All Reset」を行ってください。カメラの「All Reset」を行うと、それまでの全てのセッティング項目はデフォルトに戻ります。セッティングを保持したい場合はバージョンアップ前に File メニュー内の「All File」を行った上でバージョンアップ作業を行ってください。

尚、1.22 をインストール時に All Reset を行ったカメラから V2.0 にアップデートする場合には All Reset は必要ありません。

### 【変更点 (V1.22→V2.0)】

#### 1. ハイフレームレート(HFR)記録

XAVC 1920x1080p の場合、120FPS でのハイフレームレート記録が可能となり、最大 5 倍速(24p 時)のスローモーション撮影が可能です。また AXS-R5 を用いた RAW 記録時は 120FPS の他に 180FPS、240FPS を、イメージセンサーの撮像サイズ(画角)が変わることなく 2KRAW として記録することが可能です。HFR 撮影時、高周波帯域においてモアレが発生する場合があります。別売りの Optical 2K Filter “CBK-55F2K”を使用することによりモアレを解消することができます。純正 4K フィルターと本 2K フィルタ

一の装着状況はステータスボタンで確認することが可能です。

## 2. 120FPS 時の XAVC HD、2K RAW 同時記録

AXS-R5 を用いて 120FPS 選択時は F55/F5 本体で XAVC HD と RAW の同時記録が可能です。

## 3. システム周波数 24.0p の対応

XAVC と RAW モードにおいて 24.0p のシステム周波数に対応しました。

## 4. XAVC 2048 x 1080p への対応

F55/F5 において XAVC 2048 x 1080p に対応しました。対応しているシステム周波数は XAVC 1920 x 1080p と同じです。

## 5. レンズマウントアダプター“LA-FZB1/FZB2”に対応しました。

別売りの LA-FZB1/FZB2 を使用することで 2/3 インチ B4 レンズを F55/F5 に装着することが可能です。また 12 ピンレンズケーブルを接続することにより、レンズ情報を F55/F5 で読み込むとともに、レンズ側のレックトリガーやズームレバーの制御、RM コントローラーからのアイリスコントロールが可能になります。

## 6. サブディスプレイでコントロールできる項目の大幅追加

サブディスプレイ左側の AU/TC ボタンを押して、オーディオレベル・オーディオチャンネルセレクト・タイムコードセッティングが直接可能になりました。また FILE ボタンから ALL ファイル、シーンファイル、レンズファイルのロードが可能です。既存の CAMERA ボタンも拡張され、新たに CAMERA-2 ページを追加。カラーバーのオン/オフ・オートホワイト・オートブラック・SDI ディスプレイのキャラクタオン/オフをコントロール可能です。

## 7. サブディスプレイの表示情報追加

オーディオレベルスケールを追加しました。またファイル名情報も TC 表示の下に追加しました。スタンバイ時はネクストクリップ情報、収録時は記録中のファイルネーム情報、再生時は再生中のクリップネームを表示します。

## 8. サブディスプレイ上で EI 値の変更と MLUT のオン/オフ切替が可能

CineEI モード時、EI 値の変更(13 ステップ)と MLUT のオン/オフ切替がサブディスプレイから可能です。

## 9. MLUT に P4( Preset 4)として S-Log2 を追加

CineEI モード時、MLUT に P4 として S-Log2 を追加しました。即座に S-Log2 とその他プリセットに変更が可能です。

## 10. VF 出力と SDI 出力に WFM、ベクター、ヒストグラムを表示

VF 出力と SDI 出力にウェーブフォーム・ヒストグラム・ベクターを表示することが可能です。アサインブルボタンに“Video Signal Monitor”をアサインすることにより 3 つのモニターと表示オフを切り替えることができます。

## 11. DVF-EL100 と L700 での False カラー機能

False カラー機能を使用することにより、簡単に適正絞りをセッティングすることができます。この機能は S-Log2 ガンマ選択時 (Custom モード時)、S-Log2 MLUT 選択時 (CineEI モード時) に使用することができます。VF のスベアボタンを押すことにより以下の該当輝度が 6 色で表示されます。

本機能を使用するには DVF-EL100/L700 をファームウェア V1.1 にアップデートする必要があります。本アップデートはサービスによるアップデート作業が必要です。ソニーのサービス担当または担当営業までお問い合わせください。

また、アップデートされた DVF-EL100/L700 は V2.0 にアップデートされた F55/F5 でのみ使用可能です。それ以下のファームウェアが実装された F55/F5 に装着すると VF は起動しません。ご注意ください。

Color	IRE 出力レベル	意味
Red	105.4%以上	White Clipping
Yellow	102.4 - 105.4%	Just below white clipping
Pink	41.3 - 45.3%	One stop over 18% gray on S-Log2
Green	30.3 - 34.3%	18% gray on S-Log2
Blue	2.5 - 4.0%	Just above black clipping
Purple	0.0 - 2.5%	Black clipping

## 12. ユーザーボックスマーカーの追加

ユーザーボックスマーカーを追加しました。任意にボックスマーカーの位置とサイズを決めることができます。

## 13. フォーカスアシストインジケータ

画角中心部分のフォーカス合わせをアシストする、フォーカスアシストインジケータを追加しました。

## 14. フリッカー軽減機能

蛍光灯下やその他環境で発生するフリッカーを軽減する機能を追加しました。

#### 15. 4つのSDIを同時出力

SDI2 出力に SDI1 出力と同じ信号を、SDI4 に SDI3 と同じ信号を同時に出力することが可能になりました。

#### 16. SDI3/4 と TEST OUT より SD 信号を出力

SDI3/4 より SD SDI 出力を、TEST OUT よりアナログコンポジット信号の選択が可能になりました。

#### 17. SDI 出力と HDMI コネクタより 3840 x 2160p 出力

Custom Mode, Rec Formatが XAVC 4K 時、SDI 出力と HDMI コネクタから 3840 x 2160p を選択可能になりました。レターボックスとエッジクロップの選択が可能です。

#### 18. 4K/QFHD 出力として 2 サンプルインターリーブ方式出力の追加

4K と QFHD 出力時に今までのスクエア方式に加えて 2 サンプルインターリーブ方式を選択可能です。

#### 19.SxS メモリーへの収録素材に対する Rec Review 機能

アサインボタンより SxS メモリー収録素材のレックレビューが可能になりました。

#### 20. Fujifilm社製 Fujinon Light Weight Zoom Series(ZKシリーズ)レンズとソニー製 SCL-Z18x140 の対応

Fujifilm 社製の ZK シリーズズームレンズに対応しました。F55/F5 の PL レンズマウント部に接続するだけでホットシュー経由 (Type C)にて、レンズ情報を F55/F5 で読み込むとともに、レンズ側のレックトリガーやズームレバーの制御、RM コントローラーからのアイリスコントロールが可能になりました。またソニー製 SCL-Z18x140 ズームレンズにも対応。F55/F5 の FZ レンズマウントに接続することで、アイリスコントロールに加えてズームコントロールも RM-B シリーズから可能になりました。(ズームコントロールは RM-B170 のみ)

#### 21. ユーザーガンマへの対応

CvpFileEditor V4.2 で作成されたユーザーガンマを SD カード経由でロードすることができます。作成したユーザーガンマは SD カード上の「(root)/Private/Sony/PRO/CAMERA/HD\_CAM/」に格納してください。

#### 22. R/G/B での個別ガンマコントロール

Custom モード時、ガンマカテゴリにて STD 選択時、RGB ガンマを個別にコントロールすることが可能です。

#### 23.新 XQD メモリーカードに対応

新 XQD メモリーカード(QD-S64E, QD-S32E and QD-N64)に対応しました。SxS メモリーカードアダプターを使用することにより使用可能です。各メモリーカードでサポートしているフォーマットは以下の通り。

[QD-S64E/QD-S32E] (2013 年 11 月発売予定)

全コーデック

XAVC 4K, XAVC 2K, XAVC HD, SStP SR file, MPEG

[QD-N64] (2013 年 11 月発売予定)

MPEG のみ

#### 24. SxS メモリーカードと AXS メモリーカードの管理ファイル修復機能

SxS メモリーカードと AXS メモリーカードの管理ファイル修復機能を追加しました。

#### 25. 強制メニュー表示先の変更

メニューボタン押下時に常にメニュー表示する表示先をSDI(sub)と VF で選択可能になりました。

#### 26. ポップアップ表示のオン/オフ切替機能の追加

ND フィルター切替時などに表示されるポップアップ表示のオン/オフを切り替えることが可能です。

#### 27. 中国語メニュー・ワーニング表示の追加

中国語(簡体字)でのメニューと主要ワーニング表示をメニューから切り替えることが可能です。

#### 28. RM-B カメラコントローラーでのレスポンス改善

カメラコントローラー(RM-B750,170,150)でのコントロールにおいてレスポンスを改善させました。

#### 29. SStP モード時の ABB と APR が実行可能

SStP モード時、ABB と APR が実行可能になりました。

#### 30. SDI(Main)出力のデフォルトフォーマットを変更

59.94p/50p モード選択時、SDI(Main)のデフォルト出力を 1920 x 1080p より 1920x 1080iに変更しました。

#### 31. Lens Interface 項目のデフォルトを変更

Lens Interface のデフォルト値を”Type C”より”Off”に変更しました。

#### 32. CineEI モード時の記録メディアのデフォルトを変更

CineEI モード時の記録メディアのデフォルトを”AXS & SxS”より”AXS”に変更しました。

### 33. 記録メディアで“AXS & SxS”選択時、AXS メモリー未挿入時の REC 動作変更

記録メディアとして“AXS & SxS”選択時に AXS メモリー未挿入の場合、REC ボタンを押しても記録がスタートしない仕様に変更しました。

### 34. SStP モード時、“メディア内の記録フォーマットとは異なる Main Operation 選択時は再生不可”に変更

SStP モード時、メディア内の記録フォーマットとは異なる Main Operation (RGB/YPbPr) 選択時は再生不可に仕様を変更しました。

#### **【運用時の注意事項】**

##### 1. F55/F5 と R5 のレックタリーについて

RAW モード時、F55・F5 のレックタリー点灯よりも実際の記録は遅れています。F55・F5 のレックタリーが先に点灯してしまいますので、RAW モード時は収録ミスを避けるため R5 のタリーを正として運用してください。本現象は 10 月末リリース予定の V2.1 で修正予定です。

##### 2. SxS メモリーを挿入してすぐの素材再生について

SxS メモリーを挿入してすぐ素材を再生したい場合は VF とサブディスプレイの Stby の表示を確認してから再生してください。Stby 表示前に素材を再生すると動作が不安定になる場合があります。本現象は 10 月末リリース予定の V2.1 で修正予定です。

##### 3. システム周波数と記録フォーマット変更時について

システム周波数と記録フォーマット変更後、稀にメニュー動作が遅くなったり SDI 出力が機能しない現象が確認されています。この様な現象に遭遇した場合は F55/F5 の電源を一度オフして再起動下さい。本現象は 10 月末リリース予定の V2.1 で修正予定です。

#### **【バージョンアップの方法】**

別紙“Version Up Guide”を参照してバージョンアップしてください。

ファームウェア名：

PMW-F55\_V200\_2.00\_33\_2013-10-02\_07-35-53\_firmware.bin

PMW-F5\_V200\_2.00\_33\_2013-10-02\_07-42-19\_firmware.bin

EOF